



2026年8月9日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

11,082万kW

13時、110,821 MW (10
エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,045万kW

12時、40,446 MW (自
家消費分除く)

≈ 風力ピーク

80万kW

16時30分、803 MW

◇ 再エネ最大需要
比

48.6%

11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

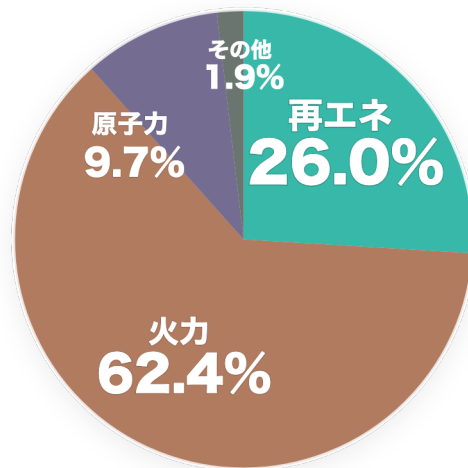
東京

134 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

109 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 46.6%

36.0 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

79.8 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

**太陽光と夕方需要の時間
差**

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:00に3,934万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで46.6%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	26.0%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	609 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,346 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	48.6%	11時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	79.8 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	46.6%	36.0	0.0	送電 6.4
東北	32.6%	100	0.0	送電 109
東京	21.1%	141	0.0	受電 134
中部	36.5%	101	0.0	受電 51.8
北陸	36.6%	26.7	0.0	送電 8.3
関西	17.8%	64.3	0.0	受電 48.4
中国	22.7%	37.5	0.0	送電 8.9
四国	22.9%	25.4	0.0	送電 43.5
九州	26.7%	74.0	0.0	送電 36.8
沖縄	9.6%	2.6	0.0	—



2026年8月9日の供給実績

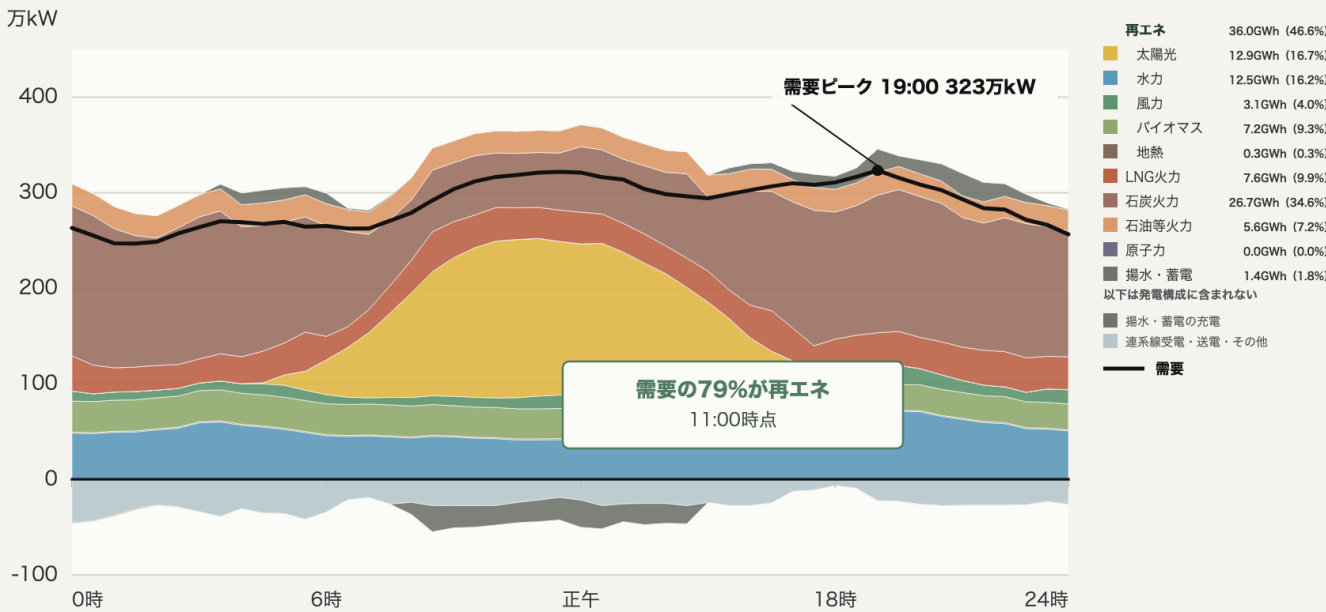
北海道エリア

再エネ

36.0GWh

(発電電力量ベース46.6%)

北海道エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

77.2GWh

需要ピーク

19:00、323万kW

連系線・その他

6.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク166万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は78.8%だった。



2026年8月9日の供給実績

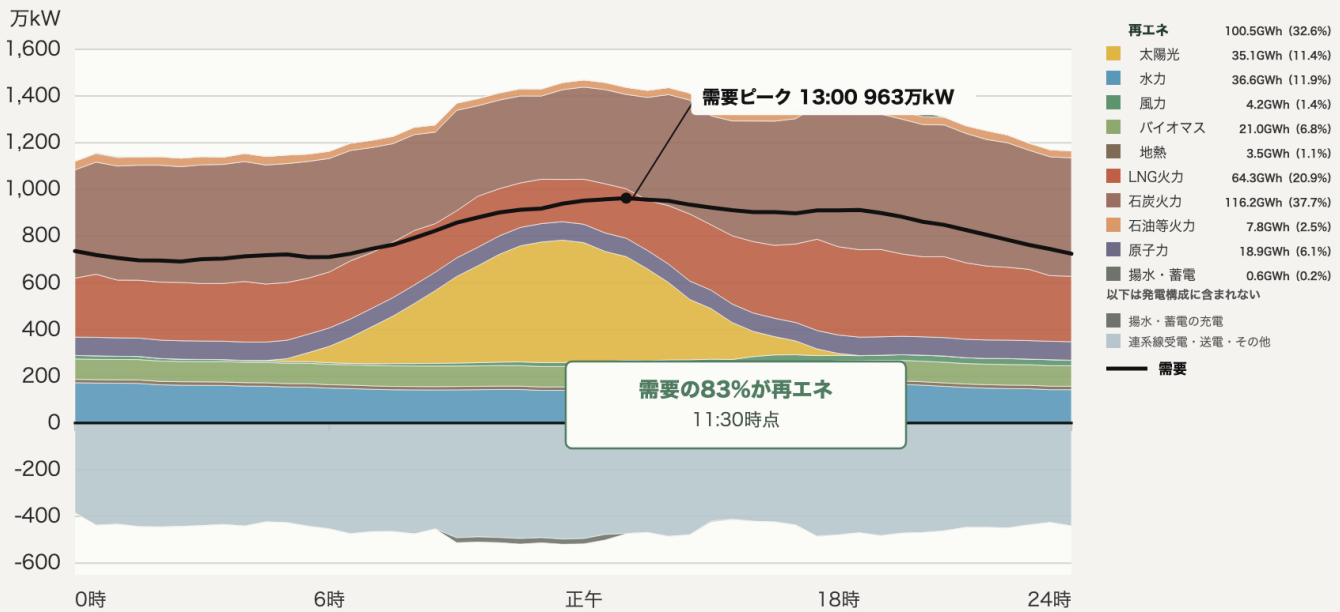
東北エリア

再エネ

100.5GWh

(発電電力量ベース32.6%)

東北エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

308.3GWh

需要ピーク

13:00、963万kW

連系線・その他

109.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク524万kW、風力ピーク32万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.4%だった。



2026年8月9日の供給実績

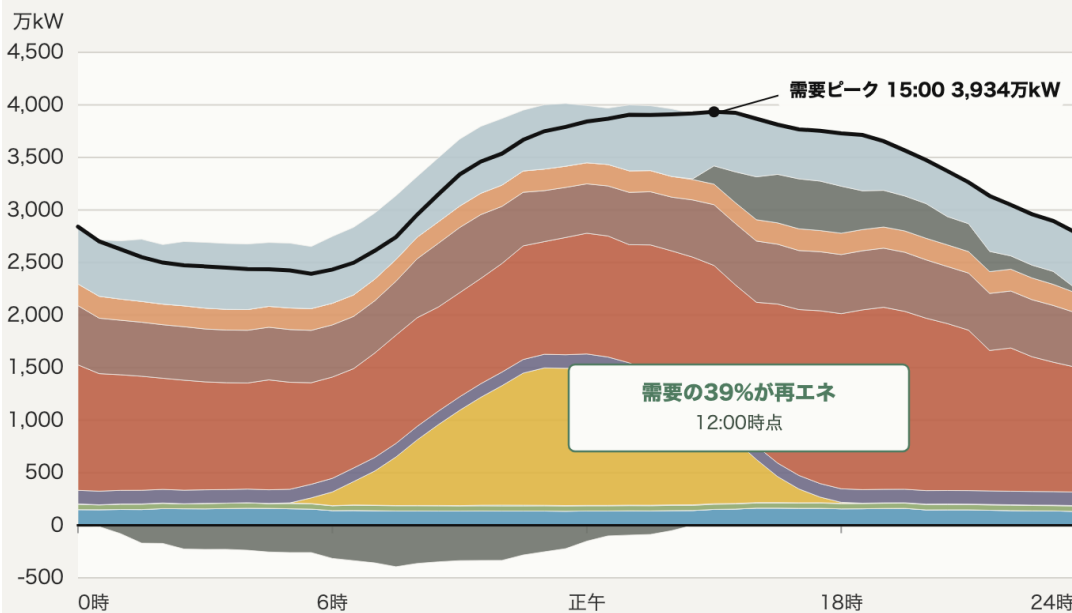
東京エリア

再エネ

141.5GWh

(発電電力量ベース21.1%)

東京エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

669.6GWh

需要ピーク

15:00、3,934万kW

連系線・その他

134.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

32.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,311万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.9%だった。



2026年8月9日の供給実績

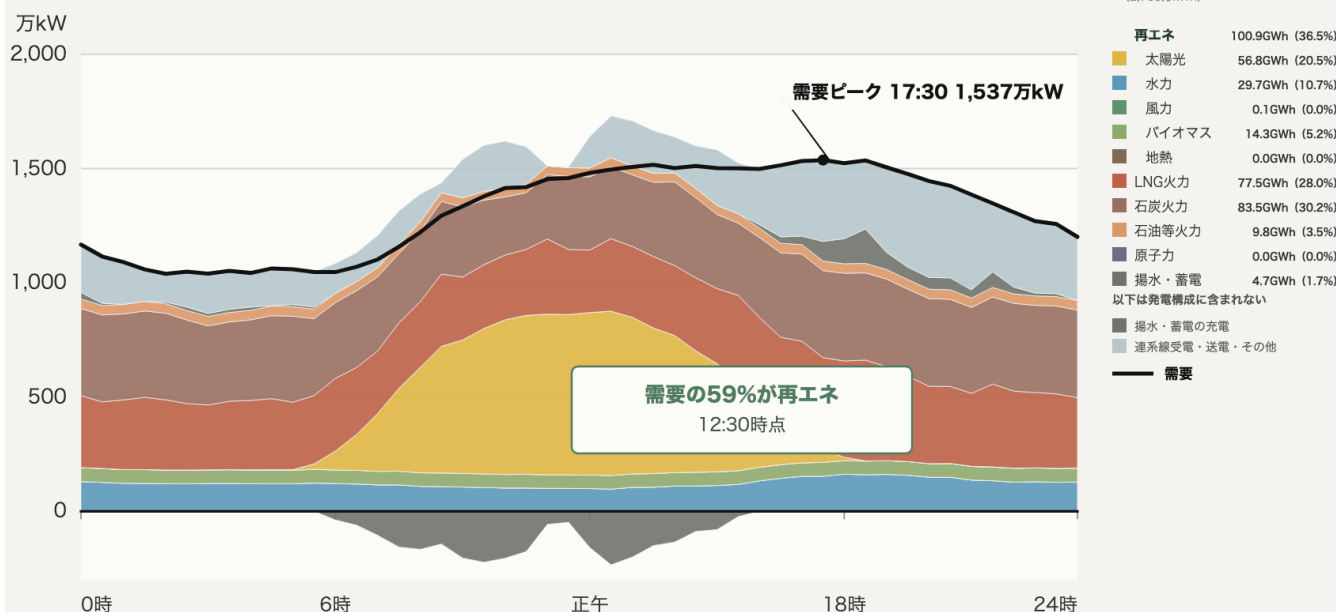
中部エリア

再エネ

100.9GWh

(発電電力量ベース36.5%)

中部エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

276.3GWh

需要ピーク

17:30、1,537万kW

連系線・その他

51.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

13.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク719万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.4%だった。



2026年8月9日の供給実績

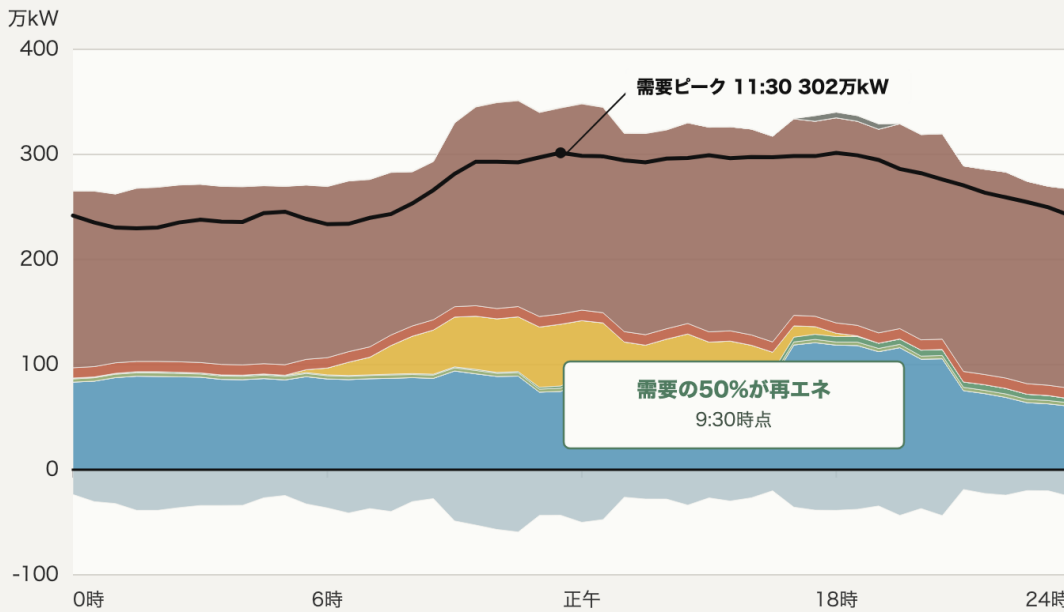
北陸エリア

再エネ

26.7GWh

(発電電力量ベース36.6%)

北陸エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 73GWh

(728万kW)

再エネ	26.7GWh (36.6%)
太陽光	4.2GWh (5.8%)
水力	21.0GWh (28.9%)
風力	0.7GWh (0.9%)
バイオマス	0.7GWh (1.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	2.4GWh (3.3%)
石炭火力	43.6GWh (59.9%)
石油等火力	0.1GWh (0.1%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

72.8GWh

需要ピーク

11:30、302万kW

連系線・その他

8.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク59万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.6%だった。



2026年8月9日の供給実績

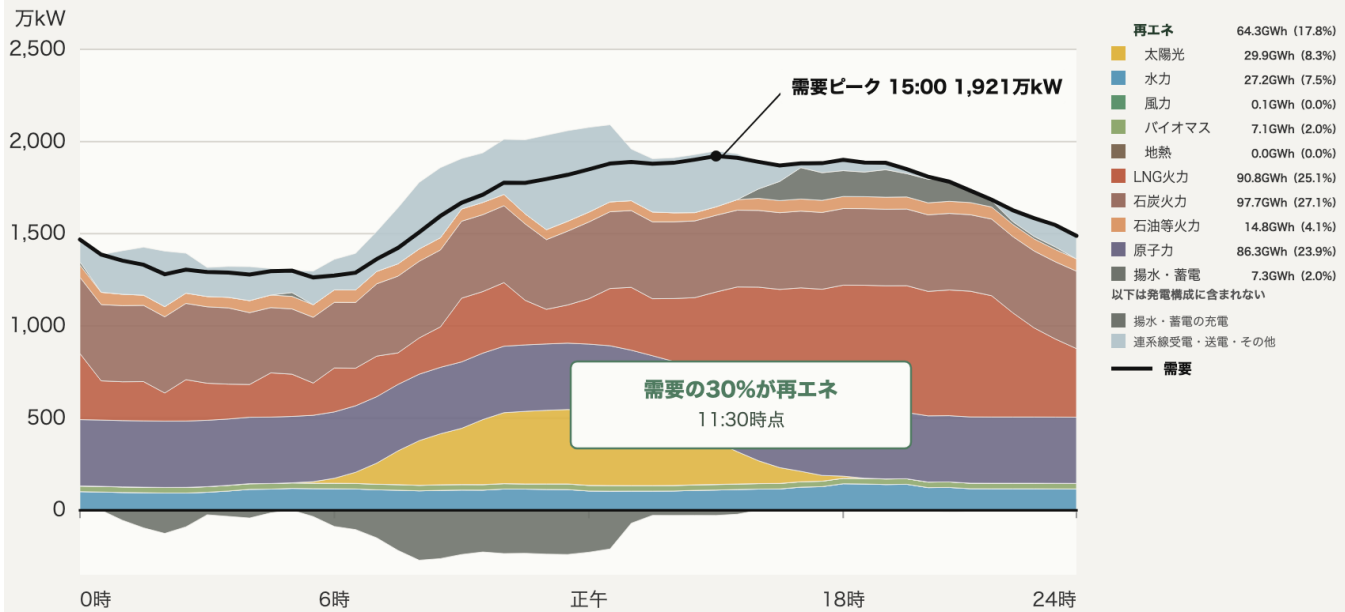
関西エリア

再エネ

64.3GWh

(発電電力量ベース17.8%)

関西エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

361.3GWh

需要ピーク

15:00、1,921万kW

連系線・その他

48.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

18.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク406万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.2%だった。



2026年8月9日の供給実績

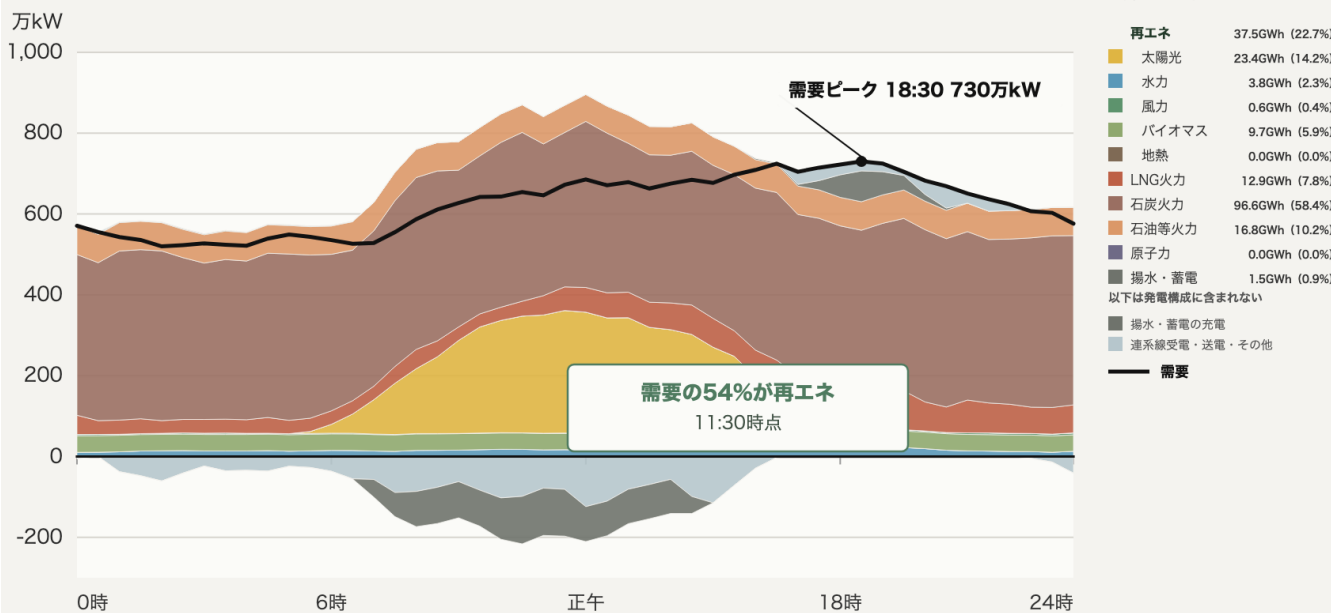
中国エリア

再エネ

37.5GWh

(発電電力量ベース22.7%)

中国エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

165.3GWh

需要ピーク

18:30、730万kW

連系線・その他

10.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

6.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク303万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.2%だった。



2026年8月9日の供給実績

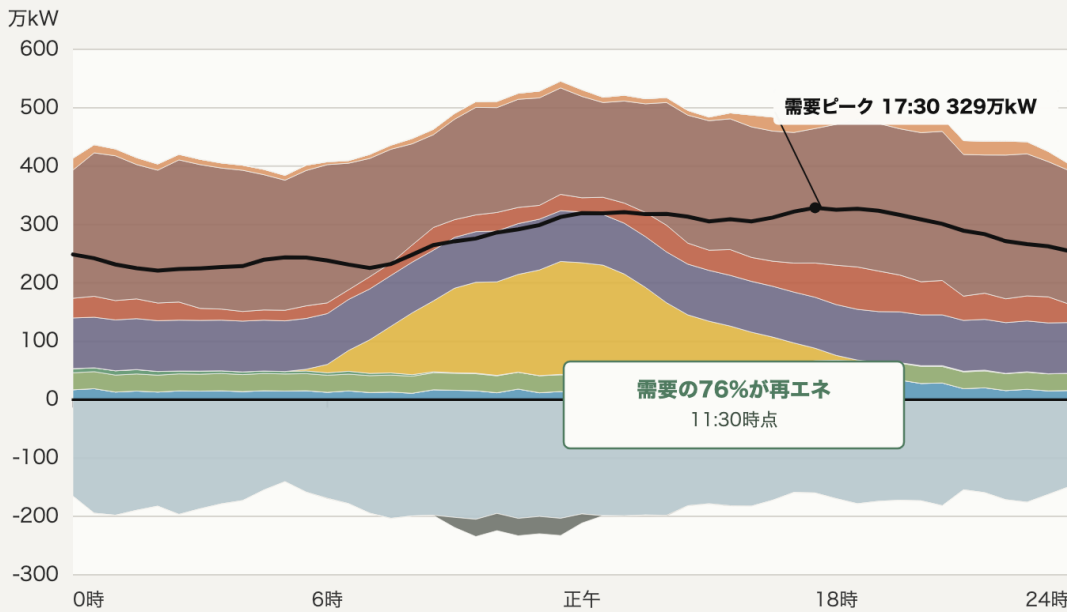
四国エリア

再エネ

25.4GWh

(発電電力量ベース22.9%)

四国エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 111GWh
(1,109万kW)

再エネ	25.4GWh (22.9%)
太陽光	13.4GWh (12.1%)
水力	4.5GWh (4.0%)
風力	0.6GWh (0.5%)
バイオマス	6.9GWh (6.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.7GWh (7.9%)
石炭火力	52.6GWh (47.4%)
石油等火力	3.3GWh (3.0%)
原子力	20.9GWh (18.8%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

110.9GWh

需要ピーク

17:30、329万kW

連系線・その他

43.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク193万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は75.7%だった。



2026年8月9日の供給実績

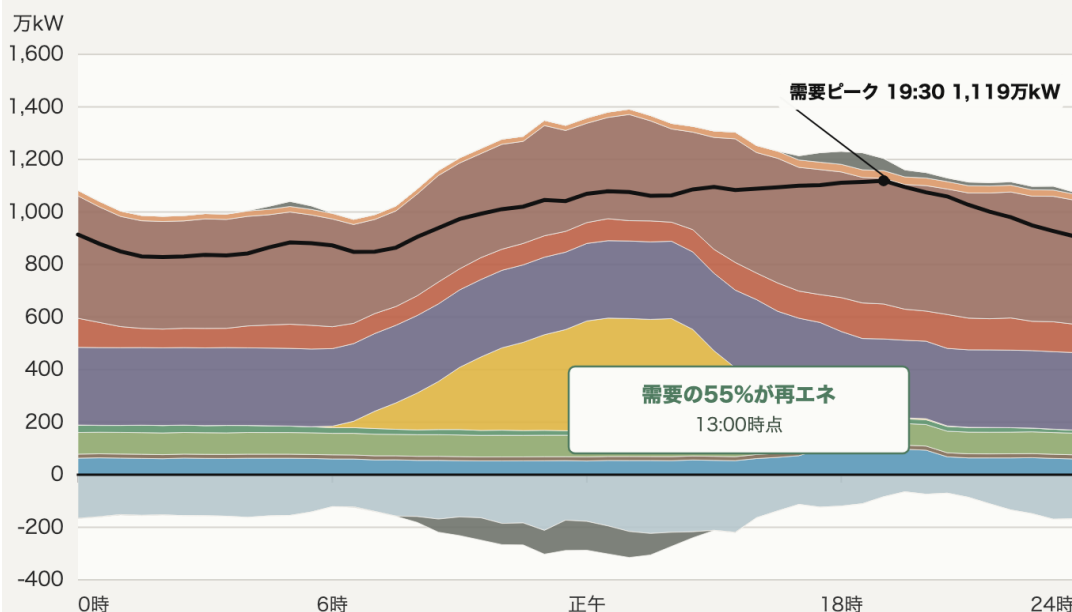
九州エリア

再エネ

74.0GWh

(発電電力量ベース26.7%)

九州エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 277GWh
(2,774万kW)

再エネ	74.0GWh (26.7%)
太陽光	30.3GWh (10.9%)
水力	15.4GWh (5.6%)
風力	4.9GWh (1.8%)
バイオマス	19.7GWh (7.1%)
地熱	3.7GWh (1.3%)
LNG火力	22.5GWh (8.1%)
石炭火力	102.7GWh (37.0%)
石油等火力	5.4GWh (2.0%)
原子力	70.8GWh (25.5%)
揚水・蓄電	2.0GWh (0.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

277.4GWh

需要ピーク

19:30、1,119万kW

連系線・その他

36.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク429万kW、風力ピーク28万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.9%だった。



2026年8月9日の供給実績

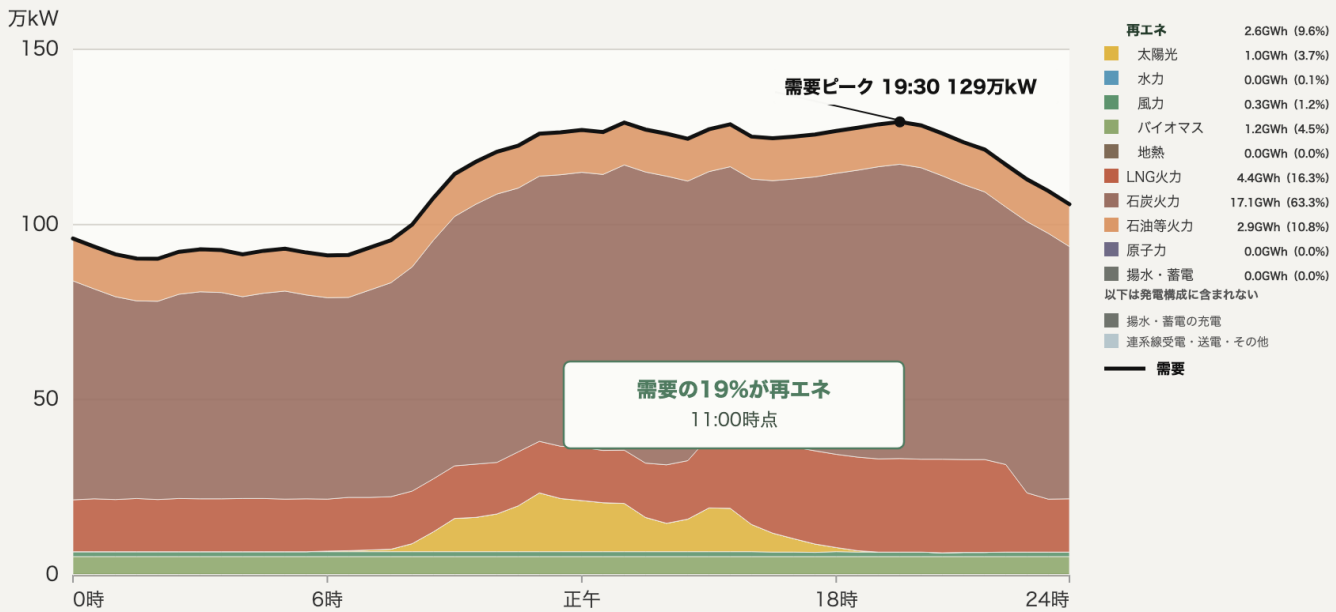
沖縄エリア

再エネ

2.6GWh

(発電電力量ベース9.6%)

沖縄エリア 2026年8月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

26.9GWh

需要ピーク

19:30、129万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク17万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は18.6%だった。